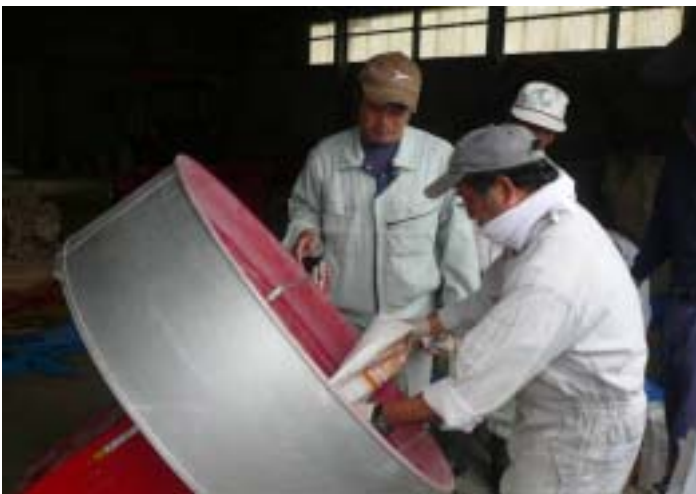


集落営農組織のレベルアップ支援 省力・低コスト栽培技術「水稻湛水直播栽培」 種子コーティング処理技術研修を開催

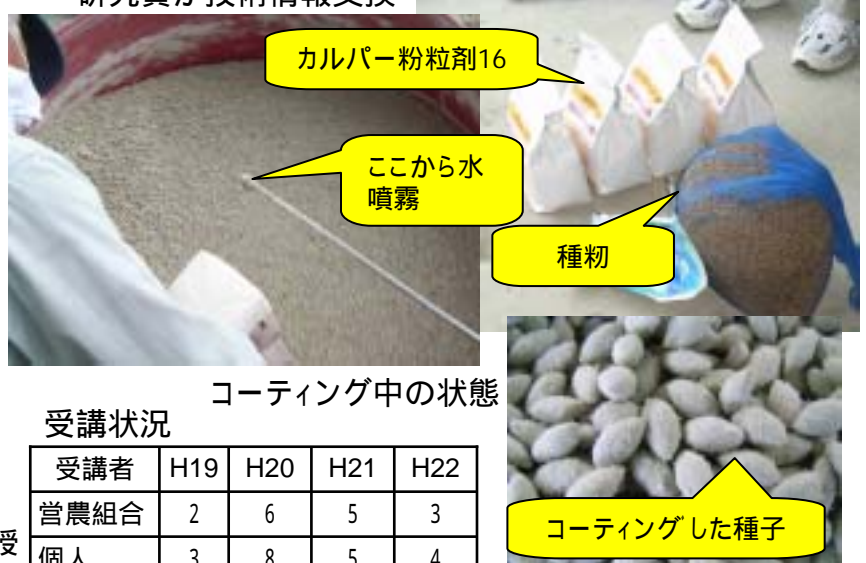
【背景・目的・成果】 集落営農組織は、省力・低コスト化技術の導入等レベルアップが強く求められており、普及現場では「育苗」など春作業の省力化を狙いに水稻湛水直播栽培技術の普及に力を入れています。当センターではこれに応え、平成19年度から「種子コーティング」処理技術研修を実施しています。現地の技能向上に繋がり、これをきっかけに県下の湛水直播栽培面積は年々増加しています。

1 種子コーティング処理技術研修(専門技術員、研究員)

- ・種子コーティング(資材:カルパー粉粒剤16、鉄粉) 併せて生産者、普及指導員、JA職員と専門技術員、研究員が技術情報交換
- ・処理技術を実地研修



専門技術員、研究員が営農組織組合員に処理技術を伝授



コーティング中の状態

受講状況

受講者	H19	H20	H21	H22
営農組合	2	6	5	3
個人	3	8	5	4

2 栽培実証事業 (普及指導員、専門技術員、県行政)

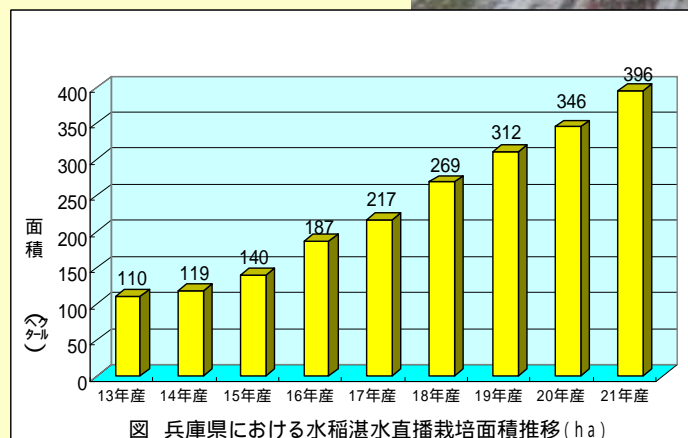
- ・現場で栽培技術実証(県単事業等の活用)



普及指導員が播種実演前の説明

3 普及拡大(普及指導員)

- ・種子コーティング処理技術研修受講組織に対し継続した技術支援を行い、湛水直播面積が年々拡大



【技術の活用】 種子コーティング処理技術研修は、取り組みを希望する営農組合に湛水直播栽培技術のポイントや営農組合経営に関する新しい情報を提供することができるなど効果の高い研修であり、今後とも継続して開催します。